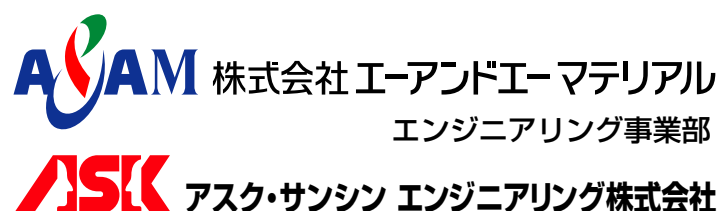


# 保温廃材減容処理システム



## ■背景

- ◆発電所等のプラント解体計画が近年盛んであり、大量の保温廃材が発生する可能性があります。
- ◆今後、廃棄物処分場が不足する事が予想されており、廃棄物量の低減が必須となっています。
- ◆近年のアスベスト問題により、石綿含有保温廃材の処分費用が高騰しています。
- ◆一般保温廃材の処分費用についても、高騰しています。



## ■目的

発電所等の解体工事やメンテナンス工事で発生する使用済みのけい酸カルシウム（シリカ）保温材をはじめ、岩綿（ロックウール）保温材、グラスウール保温材等を廃材発生現場にて圧縮減容処理し、産業廃棄物の容積を最小限に減らすことで運搬量や処分量を低減させる環境対策に対応する事業であり、本事業等の拡充と少量の保温廃材でも対応する為に今回、コンテナ搭載式減容機3号の開発を行いました。

## ■減容とは

保温廃材減容処理装置とは、油圧圧縮装置にて砕くことなく圧縮減容するシステムです。  
作業中の粉じん対策として本装置には、石綿粉じんにも対応出来るHEPAフィルター付集塵装置を装備しております。



(1) 投入口より保温廃材投入



(2) 排出口より減容処理品排出



(3) 保温廃材1m³箱詰め



(4) 1m³と減容処理品の比較

## ■減容機バリエーション

弊社所有の減容処理装置は、各用途により3種類のラインナップにてお客様のご要望にお応えします。



車載移動式減容機1号



移動設置式減容機2号



コンテナ搭載式減容機3号